

こんじゅう

よ けん しゃ

今週のことば「預言者」

せいしょ

ふくいんしょ

《聖書》ルカによる福音書 4:21-30

よ けん しゃ やく わり 預言者の役割

よ けん しゃ み らい よ けん もくとさ
預言者は未来を予言することが目的で

かみ ことば おも だ
はなく、神の言葉を思い出させるよう、

ひとびと ひ よ
人々に向かっていろんな呼びかけをして

きゅうやくせいしょ よ けん
いました。旧約聖書にはたくさんの預言
しゃ えが きょう たちは

者を描かれています。キリスト教の立場

まえ よ けん
から、イエスのことを前もって予言する

よ けん しゃ やくわり かんが かたよ
のが預言者の役割だと考えることは片寄

み かた
った見方です。

たし しんやくせいしょ こうどう
確かに、新約聖書にはイエスの行動や

ことば つた あと せいしょ ことは じつ
言葉を伝えた後、これは聖書の言葉が実

げん つた
現するためであったと伝えられています。

しゃ でき こと きゅう
これはキリスト者がイエスの出来事を旧

やくせいしょ て かんが けつか
約聖書に照らして考えていった結果であ

り、直接イエスのことを予言していたと

いみ しご
いう意味ではありません。イエスの死後、

しんやくせいしょ か しゃ
新約聖書が書かれるまでは、キリスト者

せいしょ きゅうやくせいしょ
の聖書は旧約聖書しかありませんでした。

こうどう きじゅん
そのため、すべての行動の基準のために

きゅうやくせいしょ いんよう

旧約聖書を引用していました。

よ けん しゃ やくわり み らい よ けん

預言者の役割が未来を予言することで

かみ ことば おも だ

はなくて、神の言葉を思い出させるため

ひとり よ

にあるとしたら、イエスもまた一人の預

げん しゃ とうじ ひと み らい く

言者でした。当時の人たちが未来に来る

かみ ま のぞ たい

神のさばきを待ち望んでいたのに対して、

ひとり ひとり かみ ことば みみ

イエスはまず一人一人が神の言葉に耳を

たいせつ はな

かたむけることの大切なことを話してい

ました。

けん だい しゃ かい よ けん しゃ

現代社会における預言者

けんだいしゃかい

よ けん しゃ ひつよう

現代社会においても預言者が必要です。

ひと

おも

すべての人があたりまえと思っていても、

かみ ことば

神の言葉にふさわしくなければおかしい

い

みと

と言わなければなりません。みんなが認

ただ

かんが なれ

めているから正しいんだという考えは直

していかなければなりません。

ひとり

じ ぶん い けん

たとえ一人であっても、自分の意見を

こえ だ

ひつよう

声に出していくことが必要であり、キリ

しゃ

けんだいしゃかい なか よ けん しゃ やくわり
スト者こそ現代社会の中で預言者の役割

をはたしていかなければなりません。

ねんかんだい しゅじつ ねん たきの

年間第4主日C年（滝野）